

各 位

会 社 名 テクニカル電子株式会社  
 代表者の役職名 取締役社長 代表執行役員 早川 義 彰  
 (JASDAQ・コード番号：6716)  
 問 合 せ 先 経 理 部 部 長 八 子 将  
 T E L 03 - 3762 - 5152

(訂正及び追加)「平成20年3月期中間期・通期業績

予想の修正について」の一部訂正及び追加補足説明について

平成 19 年 11 月 22 日に公表いたしました「平成 20 年 3 月期中間期・通期業績予想の修正  
 について」の添付資料の記載内容に一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたしま  
 す。なお、訂正箇所は\_\_\_を付して表示しております。

また、通期業績予想に付きまして、追加にて補足説明いたします。

1. 訂正箇所 1 ペ - ジ 1 . 平成 20 年 3 月期 連結業績予想の修正

訂正前

( 1 ) 当中間期の業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 9 月 30 日) の修正  
 ( 単 位 : 百 万 円 )

|               | 売上高   | 営業利益  | 経常利益  | 当期純利益 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|
| 前回予想 ( A )    | 4,300 | 230   | 170   | 105   |
| 今回修正 ( B )    | 4,156 | 167   | 132   | 85    |
| 増減額 ( B - A ) | 144   | 63    | 38    | 190   |
| 増 減 率         | 3.3%  | 27.4% | 22.4% |       |

訂正後

( 1 ) 当中間期の業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日) の修正  
 ( 単 位 : 百 万 円 )

|               | 売上高   | 営業利益  | 経常利益  | 当期純利益 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|
| 前回予想 ( A )    | 4,300 | 230   | 170   | 105   |
| 今回修正 ( B )    | 4,156 | 167   | 132   | 85    |
| 増減額 ( B - A ) | 144   | 63    | 38    | 190   |
| 増 減 率         | 3.3%  | 27.4% | 22.4% |       |

2. 訂正箇所 2 ペ - ジ 2 . 平成 2 0 年 3 月期 単独業績予想の修正

(訂正前)

( 1 ) 当中間期の業績予想 (平成 1 9 年 4 月 1 日 ~ 平成 2 0 年 9 月 3 0 日) の修正

( 単位 : 百万円 )

|               | 売上高   | 営業利益  | 経常利益   | 当期純利益 |
|---------------|-------|-------|--------|-------|
| 前回予想 ( A )    | 3,000 | 120   | 90     | 35    |
| 今回修正 ( B )    | 2,827 | 34    | 0      | 199   |
| 増減額 ( B - A ) | 173   | 86    | 90     | 234   |
| 増 減 率         | 5.8%  | 71.7% | 100.0% |       |

(訂正後)

( 1 ) 当中間期の業績予想 (平成 1 9 年 4 月 1 日 ~ 平成 1 9 年 9 月 3 0 日) の修正

( 単位 : 百万円 )

|               | 売上高   | 営業利益  | 経常利益   | 当期純利益 |
|---------------|-------|-------|--------|-------|
| 前回予想 ( A )    | 3,000 | 120   | 90     | 35    |
| 今回修正 ( B )    | 2,827 | 34    | 0      | 199   |
| 増減額 ( B - A ) | 173   | 86    | 90     | 234   |
| 増 減 率         | 5.8%  | 71.7% | 100.0% |       |

### 3. 補則説明

平成20年3月期 連結業績予想の修正

(1) 通期の業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の修正

(単位: 百万円)

|             | 売上高   | 営業利益  | 経常利益  | 当期純利益 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|
| 前回予想 (A)    | 9,200 | 530   | 430   | 265   |
| 今回修正 (B)    | 8,000 | 350   | 250   | 30    |
| 増減額 (B - A) | 1,200 | 180   | 180   | 235   |
| 増減率         | 13.0% | 34.0% | 41.9% | 88.7% |

(2) 修正理由

駐車場関連事業は、新製品である多機能駐車場管制システム「とめタロ-」を投入致し、拡販効果が第3四半期以後に寄与することや、ローコストの精算機等を投入し売上の拡大と収益性の向上をはかります。また電子機器部品事業は、引き続き固定費の削減やSCMの再構築に努め、業績の回復を図る所存であります。売上高は上半期の下振れ分は補えきれず、また、下半期も引き続きコインパーキング市場が冷え込むことが見込まれる事から予想を下回る見込みであり、それに伴い経常利益、当期利益も予想を下回る見込みであります。

\* 追加補足説明

セグメント別売上高の半期毎の推移

(単位: 百万円)

| 期 間               | 駐車場関連事業 | 電子機器部品事業 | 賃貸業 | 合計    |
|-------------------|---------|----------|-----|-------|
| 平成18年4月から平成18年9月  | 2,266   | 1,846    | 61  | 4,174 |
| 平成18年10月から平成19年3月 | 2,522   | 1,993    | 63  | 4,578 |
| 平成19年4月から平成19年9月  | 1,906   | 2,192    | 57  | 4,156 |

上記の表の通り、駐車場関連事業は、当社の主力事業であり、前事業年度につきましては、昨年6月に施行されました改正道路交通法( 放置駐車違反の確認を民間委託車輜所有者を対象とした放置違反金制度 短時間放置駐車も違反対象に 違反金未納者の車検継続不可等)による違法駐車取締強化により、直営駐車場の利用率が上昇したことや、寒冷地での積雪が少なく稼動が向上したこと。また、駐車場機器の販売に関しましても、大手外食チェーンからの大口案件の受注・施工や、法令改正を受けて行政サイドや管理会社がコインパーキングの有効性を再認識したこともあり、好調に推移いたしました。当期も引き続きコインパーキング市場は活況をていするものと予想しておりましたが、大手外食チェーン向システムが先方の優先投資順位の見直しにより先送りを余儀なくされた事や、時間貸駐車場間の価格競争の激化などにより、期初の目標を下回っており、堅調に推移した電子機器部品事業がそれを補填するまでには至りませんでした。

下半期は、上半期の下振れ分は補えきれず、また、下半期も引き続きコインパーキング市場が冷え込むことが見込まれるため売上高は予想を下回る見込みであり、それに伴い経常利益、当期利益も予想を下回る見込みであります。

当社といたしましては、当中間連結会計期間において計画未達となった事態を真摯に受け止め、下半期の重点課題と具体的施策を以下の通り定め実行致します。

< 駐車場関連事業戦略 >

- ・ 収益性の向上（メンテナンス業務の立て直し。受注時の採算性の明白化）
- ・ 新製品の投入での拡販  
（3～5台車室用のLow Cost精算機、ロック板を新規に市場に投入）  
（新製品である多機能駐車場管制システム「とめタロ-」を前面に押し立てた販促活動）  
（Web（IT化）の推進を行い他社との差別化及びJ-SOX対応を図る。）
- ・ 代理店、特約店の拡充
- ・ 品質の向上（不具合解析及び品質管理を徹底し業界に於ける信用力、メンテナンス効率を高める。）

< 電子機器事業戦略 >

- ・ CRTモニタの維持
- ・ LCDモニタ戦略の強力な推進
- ・ 海外OS化の確立

< 電子精密部品事業戦略 >

- ・ 当社主力である医療機器部品事業、監視用カメラ関係部品事業、産業・業務機器部品の拡販。
- ・ サプライチェーン・マネジメント（生産・物流・在庫の管理）の徹底によるコストダウン、納期の遵守及びEPE(Thailand)Co.,LTD.への生産移管によるコストダウンの実現
- ・ ROHS対応を中心とした環境対応製品の充実

以上